

子どもの頃、冬に屋外で遊んでいる時に、丸まった大きな枯れ葉を見つけた。何かを包んでいるように感じた当時の私は、何となくその枯れ葉を広げてみました。すると、その中にはキリギリスが！ ツンツンとつついていると、寒い冬なのに生きています。ありませんか。おそらく冬を越すために雨風をしのぎ、寒さから逃れることのできる枯れ葉を隠れ家として過ごしていたのでしょう。冬に昆虫を見つけたことが何か

⑫ 意識して見る



大阪成蹊大准教授 福岡亮治

不思議で、それ以来、冬に丸まった枯れ葉を見掛けると気になって仕方がありません。その興味はどんどん広がり、公園のベンチの裏側に集まっているテントウムシを見つたり、家の屋根下の壁でチ

このように普段ならば見過ごしてしまふような事象・現象を意識することで科学の世界は広がります。今、私が気になっているのはソテツの木。職場近くの公園にあるのですが、これがとても不思議



わくわくする発見があるかも

ソテツの幹から別の植物の枝が出ています。春にはなんとサクラが咲いていま

した「写真⑤」。同じ公園内にはサクラの木がありますが、ソテツの近くにはありません。秋に発見した時には「ソテツの隙間に誰かが枝を刺したのかな」と思っていました。見事な咲きぶりでした。

「赤い葉は何？」「手前の枝と葉は同じ種類？」「隙間に種が入り芽生えたのか？」「サクラとの関係は？」。またまた、新しい不思議が生まれました。このソテツの木は、まだまだ私を楽しませてくれそうです。



普段ならば見過ごしてしまうところかもしれませんが、意識して見ること楽しい世界が広がります。ソテツの木の隙間に桜の種が入り込み、芽生えたのかな？ 近くにあってサクラが融合してしま

「写真⑥」。同じソテツの裏側にはサクラとは違う、また別の枝と葉が生えていました。向